

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成22年9月1日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304

FAX 082-245-0349

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



□ 2学期を迎えるに当たって

厳しい暑さが続いています、いよいよ2学期が始まりました。

夏休みの日中、学校では、せみがプレハブ校舎の建設工事の音をかき消すくらい大きな鳴き声を上げていました。8月中旬くらいまでは、ミンミンゼミやアブラゼミ、下旬にはヒグラシと種類は変わっていきましたが、今は、その鳴き声もめっきり少なくなりました。

そのせみは、幼虫の間は、長い地下での生活を送り、その間何回か脱皮を繰り返し、ようやく成虫になるそうです。地下での生活は、数年から十数年と言われています。長い年月の結果、成虫になっていきます。

本校では、夏季休業中においても休まずに、先進校の視察、研修会の開催、他の研修会への参加等、移転開校に向けての準備や教職員の専門性の向上等に努めてきました。これまでの課題から脱皮し、大きく成長するためです。しかし、本校は、せみが幼虫から成虫になるまでのように十数年も待てません。できることからすぐに始めていかなくてはなりません。これからも教育課程の見直しや授業改善等に取り組み、児童生徒への教育内容の充実を図り、保護者や地域社会から信頼される学校を目指して弛まぬ努力を続けていきます。これからの本校の取組を見ててください。

□ 高等部入学希望者学校見学・説明会

7月22日(木)、本校では、初めての高等部学校見学・説明会を実施しました。この高等部学校見学・説明会は、本校に入学を希望する生徒、その担任、保護者を対象としています。2回に分けて実施しましたが、午前は、生徒30名、保護者34名、教職員11名、計75名、午後は、生徒28名、保護者30名、教職員13名、計71名、午前と午後合わせて146名もの多くの方に参加していただきました。内容は、施設見学、授業・行事の紹介、高等部の教育内容等の説明であり、進路選択の一助にさせていただいたのではないのでしょうか。特に、資料としては、DVDや写真を中心に説明を行い、わかりやすい学校説明に心がけました。説明を聞き、資料を見て、本校をしっかりと理解していただいて、これからの入学相談や入学調査を受けていただくよう願っています。



□ よい歯の健康大賞

7月29日(木)に、広島市学校保健会、広島市教育委員会主催による第52回広島市学校保健大会が行われました。その中の、よい歯の学校・児童表彰において本校の小学部第6学年の岡峰和樹君と杉山拓実君の2名が「よい歯の健康大賞」を受賞しました。これは、日頃の歯科検診や歯科健康相談での上田裕次学校歯科医の御指導と家庭、学校での歯磨きの習慣の成果です。健康には、よくかんで食べることが大切です。そのためには、歯が丈夫でないといけません。本校の他の児童生徒も虫歯があれば治療するなど、歯の健康について家庭での協力をお願いします。



□ ドリームナイト・アット・ザ・ズーの見学

8月7日(土)、広島市安佐動物公園から本校小学部の児童が夜の動物園の見学に招待されました。案内がドリームナイトのとおり、18時から21時までの見学で、21家族が参加しました。夜の象やライオンなど昼間見ることのできない動物の様子を見ることができて、楽しいひとときを過ごすことができました。きっと、気分をリフレッシュできたことでしょう。これからも、社会での様々な行事に障害のある児童生徒も参加して、いろいろな経験をしてほしいと願っています。そのためにも、周囲の人の配慮も必要です。広島市安佐動物公園の園長をはじめ園の皆様、ありがとうございました。



□ 全体研修会

夏季休業中の15日間で、25本の研修会を行いました。これらの中には、特別支援教育のセンター化機能としての役割を果たすべく小・中学校等の教職員に向けて公開した講座も多くあります。このほかにも、教職員は、特別支援教育の免許を取得するための講習や教員免許を更新するための講習をはじめ、他の先進校の視察、中国地区の知的障害特別支援学校の研究大会等各地で様々な研修に励みました。こうした研修会で学習したことは、教職員の専門性の向上につながります。そしてその教職員の専門性の向上は、結果として、授業の質的な改善に結びついていくようになっていきます。よりよい授業をするために、今後とも研修を継続して取り組んでいきます。



□ 夏期教育相談会

8月3日(火)から13日(金)までの間、教育相談会を実施しました。本年度、本校では、特別支援教育のセンター的機能のより一層の充実を図るため、地域支援部を設立し、小・中学校等のニーズに応じた支援ができるよう努めていこうとしています。この教育相談会は、その一環として実施するもので、個別の指導計画、進路、教材・教具、福祉制度等多岐に渡る相談を行いました。お役に立ちましたでしょうか。今後、校内での更なる授業改善等に取り組み、力量を高めて、皆様から信頼される学校となるように一層の努力をしていきたいと考えています。

□ 教材・教具展示会

教育相談会とほぼ同時期の8月5日(木)から8月26日(木)に、教材・教具展示会を行いました。日頃、児童生徒への指導のため工夫して製作した教材・教具を、本校の教職員をはじめ、他の小中学校等の教職員にも公開しました。8月23日(月)には、広島市工業技術センターの所長様、課長様等計5名の方が来校され、見学をされました。また、実際に教室も御覧になり、必要な教材・教具について、情報交換ができました。工業技術との連携による児童生徒の学習や生活を支援する教材・教具の開発を期待したいものです。



□ 大野和士のころもふれあいコンサート

8月17日(火)世界的に有名な指揮者で、現在フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者の大野和士氏が来校されました。本物の音楽を聴いてもらえば、全ての人に感動を伝えることができるという信念の下、ボランティアで各地を回っておられます。このたびは、大野氏のピアノとトーク、国内外で活躍中のオペラ歌手、坂井田真実子氏、与儀巧氏の歌を鑑賞しました。会場のランチルームⅠには、児童生徒や保護者、市教育委員会の方々等、160名を超える人が集まり、「椿姫」「夏の思い出」をはじめ、皆で楽しめるトトロの曲等を聴きました。楽しいお話、迫力のある歌声を聴いて、大人も子どももたくさんの元気をいただきました。大野氏をはじめ歌手の皆様、本校でのコンサート開催にお世話していただいた方々、準備していただいたPTA文化厚生部の皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。



□ 生活支援相談会

8月18日(水)生活支援相談会を実施しました。平成20年度から生活支援と就労支援の相談を始め、平成21年度から生活支援の相談に絞って行いました。本年度、相談支援者として、瀬野川学園コーディネーター、いくせいコーディネーター、めーぷる相談員、広島市こども療育センター指導員、もみじ作業所所長、きつつき作業所主任生活支援員、おりづる作業所施設長、森の工房施設長にお越しいただき、23件の相談を受けていただきました。相談支援員の皆様、ありがとうございました。23件の相談のうち、高等部の相談は16件と多いのですが、小・中学部が少なかったため、今後、もっと多くの方々に利用していただけるよう、啓発活動等をしていきたいと考えています。

□ 学校周辺の清掃

8月30日(月)教職員全員で、学校周辺の清掃を行いました。朝のうち比較的涼しい時間帯に、植え込みを中心に雑草等を取っていきました。学校の環境美化に努めようということで昨年度から実施しています。多くの方々が通行される場所です。気持ちの良い環境になればと思います。また、校舎の中も継続して、教職員で美化に努めていきます。

